

事業名：経済活動広報事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化			
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化			
				プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援			
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市民
手段（事務事業の内容、やり方）	市内の経済・産業・企業をアピールする広報紙を作成し、「広報えべつ」とともに配布する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	市内の経済・産業・企業を市民に周知し、市内産業や市内企業を応援する市民を増やすとともに、企業間連携のきっかけを作る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市民	人	0	0	0	120,802
対象指標 2	世帯数	世帯	0	0	0	54,921
活動指標 1	年間発行回数	回	0	0	0	1
活動指標 2						
成果指標 1	広報紙を読んでいる市民の割合	%	0	0	0	84.8
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	900
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	1,565
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	2,465

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	市内の経済・産業・企業をアピールする広報紙を作成し、「広報えべつ」とともに配布する。	広報紙作成委託費 751千円 広報紙折込委託費 149千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：商工業活性化事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化					
			プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援					
開始年度	平成 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
①中小企業団体 ②中小企業者 ③商店街団体 ④個人	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う事業に対して補助する。 ・共同施設等の整備や土地取得費、商店街の景観向上整備（ハード事業）や、人材育成、新製品・新技術の開発、販路拡大等（ソフト事業）に対する補助メニューがある。 ・事業申請書を提出し、補助事業の指定を受けたのち補助金を交付する。 ・事業終了後は報告書を提出する。 ・「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別市商工業活性化事業補助要綱」に基づき、市内の商工業の活性化に対する効果が認められる事業に対し、補助率1/10～7/10の範囲内（限度額40～8,000千円）で補助する。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
共同施設の改善や商店街の景観向上、イベントや新商品開発等により事業者の活力向上並びに商店街の魅力を高め集客を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	中小企業所数	所	3,584	3,584	3,584	3,614
対象指標 2	商店街組合数	件	8	8	8	8
活動指標 1	補助金額	千円	4,113	4,602	6,350	6,585
活動指標 2						
成果指標 1	補助金の活用件数	件	25	31	35	40
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	4,113	4,602	6,350	6,585
正職員人件費 (B)		千円	1,605	1,202	2,014	3,912
総事業費 (A+B)		千円	5,718	5,804	8,364	10,497

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う事業に対して補助する。 ・商店街の建築協定に基づき、れんがによる景観向上等に補助する。 	・補助金 6,585千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	「地域育成推進事業」で実施されていた江別若手経営塾事業を本事業へ移管する。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持			○
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：江別経済ネットワーク事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
			プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	大学、研究機関、企業など経済ネットワークの参加者
手段（事務事業の内容、やり方）	例会（講演、研究成果発表、情報交換等）の開催
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	参加者間の連携を進め、研究や事業活動を活性化する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	経済ネットワーク会員数	名	0	0	0	227
対象指標 2						
活動指標 1	経済ネットワーク例会開催回数	回	4	4	6	6
活動指標 2						
成果指標 1	例会参加者数		125	129	125	150
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	304	71	395	417
正職員人件費 (B)		千円	2,408	2,405	2,417	3,521
総事業費 (A+B)		千円	2,712	2,476	2,812	3,938

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・経済ネットワーク例会 ・セラミックス交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・講師謝礼 24千円 ・取組成果広報紙印刷費 300千円 ・セラミックス交流会 ミニチュアレンガ教室事業費 29千円 ・「北海道遺産ロゴシール」作成業務委託 22千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	「江別ブランド推進事業」の一部を統合する		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持			○
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：食を軸とした観光誘客・地場産品販路拡大事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	② マーケティングの視点に基づいた産業振興				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
中小企業者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
北海道や北海道貿易物産振興会が実施する北海道産品取引商談会への参加等、マーケティング支援を最大限活用し、地域内・地域外での積極的な地場産品の販売戦略等を江別市が関係団体等と連携しながら推進する。また、地場産品の販売にあわせて江別の観光プロモーションを行なうことにより、観光客誘客促進などにつなげる。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
販路拡大を支援することにより、市内中小企業の経営基盤の安定・観光客誘客による経済活動の振興、さらにはバイヤーとの繋がりによる地場産品の掘り起こし・高付加価値化を図りながら経済活動の活性化及び雇用創出や税収増加などの効果を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	中小企業所数	所	3,584	3,584	3,584	3,584
対象指標 2	観光協会会員数	会員	168	179	180	180
活動指標 1	商談会・催事出展件数	件	4	4	5	4
活動指標 2						
成果指標 1	商談会・催事出展企業数	社	36	29	30	29
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	555	517	682	355
正職員人件費 (B)		千円	1,204	2,405	2,417	1,956
総事業費 (A+B)		千円	1,759	2,922	3,099	2,311

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	マーケティングテスト(どさんこプラザ、きたキッチン、札幌地下歩行空間) 北海道産品取引商談会 江別産品試食相談会 「美味しい江別・大人の食育」ブランド化プロジェクト支援	・江別産品試食相談会謝礼 99千円 ・北海道産品取引商談会出店負担金 201千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	江別産品の効果的な発信や磨き上げを行い、観光誘客につなげる。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持	○		
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：野幌駅周辺地区商店街活性化促進事業 参事（商店街活性化）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化					
			プログラム	③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援					
開始年度	平成26年度	終了年度	平成28年度	区分1	新規	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
野幌商店街	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決を目的としたコーディネーターを常設し支援を実施する。 ・「野幌駅周辺地区商店街活性化促進補助要綱」に基づき、野幌商店街の要請により出店するテナントに改装費の1/2（上限：300万円）や家賃の1/2（1年間、月額上限5万円）を補助する。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 街路事業に伴う野幌商店街の再編整備に係る地域課題が解決される。 2. 野幌商店街の集客力が向上される。 	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	野幌商店街	団体	0	0	0	1
対象指標 2						
活動指標 1	コーディネーター数	人	0	0	0	1
活動指標 2	補助金額	千円	0	0	0	3,500
成果指標 1	相談件数	件	0	0	0	120
成果指標 2	誘致件数	件	0	0	0	1
事業費 (A)		千円	0	0	0	8,581
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	2,347
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	10,928

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の地域課題を解決するコーディネーターを常設 ・商店街の要請により出店するテナントに対し改装費や家賃を補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター委託費 5,081千円 ・誘致テナントへの補助金 3,500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：商店街参入促進事業

参事（商店街活性化）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
			プログラム	③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	平成28年度	区分1	新規	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
コミュニティ活動啓発セミナーの開催により高齢者や学生の商店街での活動参入を促し、参入希望者へのサポート事業を実施する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
多様な主体や様々な世代が交流するコミュニティの場として、商店街の賑わいをもたらす。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市民	人	0	0	0	120,802
対象指標 2						
活動指標 1	セミナー開催数	回	0	0	0	1
活動指標 2						
成果指標 1	セミナー参加者数	人	0	0	0	50
成果指標 2	サポート事業実施数	件	0	0	0	2
事業費 (A)		千円	0	0	0	792
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	1,565
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	2,357

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動啓発セミナーの開催 ・活動参入者へのサポート事業の実施 	コミュニティ活動啓発セミナー開催及び参入サポート事業に係る委託経費 750千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：総合特区推進事業

参事（総合特区推進）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	④ 大学・研究機関との共同研究の推進				
開始年度	平成24年度	終了年度	平成28年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（区域）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 関係自治体等で構成される協議会等に参画し、道内3地域連携のもと、食の付加価値向上に向けた共同事業等を推進する。 大学、研究機関等との連携を推進し、食品の機能性検証システムを構築する。 市内食品メーカーによる高付加価値食品の開発や海外での市場開拓・販路拡大等を支援する。 食品臨床試験事業補助金(H24～)：食品臨床試験事業補助金交付要領に基づき、食品臨床試験事業を実施する団体に補助金を交付する。（補助率：事業費の10/10以内） 海外市場開拓等促進補助金(H25～)：海外市場開拓等促進補助金交付要領に基づき、市内で生産した加工食品・農畜産物の輸出等をする企業等に補助金を交付する。（補助率：対象経費の1/2） 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
食関連産業の立地環境（事業しやすい環境、取り組みやすい環境）が整備され、道内外の食品メーカー・研究施設が市内に新規立地するようになるとともに、市内既存食品メーカーが事業を拡大するようになる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標1	特区協議会の構成員数	団体	0	88	90	90
対象指標2						
活動指標1	食品の臨床試験ボランティア登録者数	人	0	1,738	2,500	4,000
活動指標2	補助金額	千円	0	9,998	10,981	10,633
成果指標1	食関連企業の新増設数	社	0	0	1	1
成果指標2						
事業費(A)		千円	0	11,944	15,915	18,461
正職員人件費(B)		千円	0	12,024	12,084	11,736
総事業費(A+B)		千円	0	23,968	27,999	30,197

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> フード特区機構の運営等に係る経費の負担金を支出。 食品臨床試験事業を実施する団体に補助金を交付。 市内で生産した加工食品・農畜産物の輸出に取り組む企業等に補助金を交付。 海外取引のリスク軽減を図ることで輸出等を加速させるための企業支援事業を実施。 高付加価値食品の開発等に係るモデル事業を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> フード特区機構負担金 3,775千円 食品臨床試験事業補助金 10,133千円 海外市場開拓等促進補助金 500千円 海外市場開拓支援事業 900千円 新商品開発モデル事業 2,702千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：企業誘致推進事業

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開				
			プログラム	① 「食」の付加価値を高める産業の集積				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
企業・事業所	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・道庁、産業支援機関、企業情報調査会社等からの情報収集 ・企業、産業支援機関等へのPR活動 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
道内外の企業・事業所を江別市へ誘致する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	企業・事業所数	社	393,391	0	0	393,391
対象指標 2						
活動指標 1	企業、産業支援機関等の訪問数等	社	102	115	100	100
活動指標 2						
成果指標 1	立地企業・事業所数	社	2	4	2	2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,693	1,272	1,972	2,674
正職員人件費 (B)		千円	20,065	8,016	8,056	17,995
総事業費 (A+B)		千円	22,758	9,288	10,028	20,669

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致活動のための情報収集 ・パンフレット等による情報発信 ・企業訪問、人脈形成等 ・連携協定に基づく協力体制の構築 ・RTNパーク周辺交通量調査・解析 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業信用調査 648千円 ・企業誘致パンフレット増刷 395千円 ・企業訪問、人脈形成に係る旅費 479千円 ・連携協定に関する費用 195千円 ・交通調査解析委託 800千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：企業立地等補助金

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開					
			プログラム	① 「食」の付加価値を高める産業の集積					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
江別市において企業立地等（新規立地・増設・設備更新）した企業	
手段（事務事業の内容、やり方）	
①先端産業等誘致促進条例に基づく補助金を交付する。 ②江別市企業立地等の促進に関する条例に基づく補助金を交付する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市内経済の活性化を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	補助金交付企業数	社	3	2	1	2
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	21,502	6,593	5,300	35,340
活動指標 2						
成果指標 1	補助金認定件数（累計）	件	21	22	22	23
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	21,502	6,593	5,300	35,344
正職員人件費 (B)		千円	1,605	1,603	5,639	3,912
総事業費 (A+B)		千円	23,107	8,196	10,939	39,256

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	先端産業等誘致促進条例に基づく補助金交付	補助金 35,340千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性			減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持			○
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：都市と農村交流事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開					
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	団体運営補助	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内農業者及び市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> 「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、都市と農村の交流の推進を図るための事業を行う団体に対して、事業費を補助する。（予算の範囲内） 補助を受けた協議会は、都市と農村の交流を推進するため、それぞれの部会の活動（農産物直売所・貸し農園・加工部会）、部会が連携した活動を行う。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<ul style="list-style-type: none"> 農業を介しての都市と農村の人的交流を盛んにする。 農村の自然や文化に触れあうことで心身のやすらぎの場を提供する。 江別産の農畜産物の消費が拡大され、生産者の所得増につなげる。 	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標1	市内農業者	人	1,266	1,243	1,245	1,174
対象指標2	市民	人	121,705	121,385	121,385	120,802
活動指標1	イベント開催回数	回	23	25	20	20
活動指標2	各部会等開催回数	回	8	10	10	10
成果指標1	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	0	423,000	423,000	427,000
成果指標2	イベント参加者の関心度	%	94	87	80	80
事業費 (A)		千円	874	755	970	1,069
正職員人件費 (B)		千円	4,816	6,413	5,236	5,086
総事業費 (A+B)		千円	5,690	7,168	6,206	6,155

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> 「まち」と「むら」の交流推進協議会に対して補助金を支出 協議会事業：直売所スタンプラリー、農産物加工品ブランドシール作成、野菜栽培講習会、農業体験バスツアー など 	<ul style="list-style-type: none"> 「まち」と「むら」の交流推進協議会への補助 直売所スタンプラリー・直売所マップ作成等 630千円 農業体験バスツアー 340千円 農産物加工品ブランドシール 99千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	未来戦略2B-②【付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援】に向け、農産物加工品の認証シール制度の創設を支援する。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上	○		
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：江別産農畜産物ブランディング事業 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化		
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開		
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援		
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助 補助金 事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内農業者及び市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<p>〈小麦〉 イベント開催年は「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、地元産小麦のPR等に対して補助する。（予算の範囲内）</p> <p>〈黒毛和牛〉 「えぞ但馬牛ブランド化支援事業実施要領」に基づき、次のとおり補助する。①精液等購入経費：補助率1/2以内 ②繁殖牛自家保留：1万円以内/頭 ③受精卵移植：5,500円以内/回</p> <p>〈小麦、黒毛和牛他〉 メディアの活用、農場見学会の実施等、市民と生産者をつなぐ取組を行う。</p>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市民に認められた農畜産物ブランド品が供給され続けるための仕組みを作ることで、各品目の安定生産を計る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内農業者	人	1,266	1,243	1,245	1,174
対象指標 2	市民	人	121,705	121,385	121,385	120,802
活動指標 1	イベント開催補助金額	千円	0	0	0	2,000
活動指標 2	精液購入等補助金額	千円	688	600	750	750
成果指標 1	特産品の認知個数	品目	0	0	0	2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	688	600	750	2,750
正職員人件費 (B)		千円	3,612	3,607	3,625	3,912
総事業費 (A+B)		千円	4,300	4,207	4,375	6,662

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）小麦フェスタ開催助成 ・黒毛和牛優良種雄牛精液購入等補助 ・農畜産物ブランド品PR（HPや広報掲載等メディア活用、農場見学会実施） 	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）小麦フェスタ開催助成 2,000千円 ・黒毛和牛優良種雄牛精液購入等補助 750千円 ・農畜産物ブランド品PR ※（仮称）小麦フェスタ開催助成の中で実施

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
26年度への改善方向性	未来戦略2B-②「付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援」に向け、（仮称）小麦フェスタの開催を支援する。	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持					○
見直し					
新規					
休止 廃止 その他					

事業名：働きたい女性のための就職支援事業（技能習得）

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
			プログラム	② 潜在労働力の掘り起し（就労支援）				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	就業を希望している女性
手段（事務事業の内容、やり方）	就職または再就職に向けた技能習得のための講習会を開催する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	企業の求人に応募する女性を増やし、女性の就業拡大と市内企業の労働力確保の両立を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内の女性数（15～64歳）	人	0	0	0	38,951
対象指標 2						
活動指標 1	技能講習会開催回数	回	0	0	0	2
活動指標 2						
成果指標 1	技能講習会受講者数	人	0	0	0	20
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	164
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	1,565
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	1,729

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	パソコン技能習得のための講習会を開催する。	講師謝礼・託児謝礼 156千円 会場使用料 8千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性			減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：働きたい女性のための就職支援事業（情報提供）

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
				プログラム	② 潜在労働力の掘り起し（就労支援）				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
就業を希望している女性									
手段（事務事業の内容、やり方）									
女性の就業に積極的な企業の情報を提供する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
企業の求人に応募する女性を増やし、女性の就業拡大と市内企業の労働力確保の両立を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内の女性数（15～64歳）	人	0	0	0	38,951
対象指標 2						
活動指標 1	情報提供の回数	回	0	0	0	1
活動指標 2						
成果指標 1	広報紙を読んでいる市民の割合	%	0	0	0	84.8
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	300
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	1,956
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	2,256

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	女性向けインターンシップ（就業体験）など、女性の就業を積極的に支援している企業の情報を掲載した広報紙を作成し、広報えべつとともに配布する。	広報紙作成費 150千円 広報紙折込手数料 150千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：働きたい女性のための就職支援事業（機会提供）

政策調整課 主査（政策調整・男女共同参画）

政策	09 計画推進			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	03 男女共同参画による市政運営の推進			プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
				プログラム	② 潜在労働力の掘り起し（就労支援）				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	就業を希望している女性
手段（事務事業の内容、やり方）	男女共同参画の視点から、子育て等をしながら就業を望む女性と企業とのマッチングや保育サービス等の相談を併せた複合的な就業支援イベントを開催する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	女性の就業に向けた課題が解決され、就職もしくは再就職につながる機会が提供される。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内の女性数（15～64歳）	人	0	0	0	38,951
対象指標 2						
活動指標 1	イベント出展企業等の数	件	0	0	0	10
活動指標 2						
成果指標 1	イベント来場者数	人	0	0	0	150
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	892
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	1,956
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	2,848

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業と参加者の相談コーナー ・託児サービスコーナー ・保育相談窓口等の設置 ・パネルディスカッション等交流コーナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント企画運営の委託料 892千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：有給インターンシップ等地域就職支援事業 商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
			プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業 ・市内大学の学生 	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<p>①市内大学が開催する学内企業説明会に参加する市内企業を支援する。 ②新卒者雇用に関する調査および市内関係機関連絡会議を開催する。 ③市内大学の学生と市内企業が連携して行う有給インターンシップが円滑に進むよう支援する。</p>	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
<p>①②大学生に対して市内企業へ就職するという意識を高め、若年者の市内定住促進を図る。 ③学生の学費・生活費確保と、市内企業の労働力確保の両立を図る。</p>	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内大学の在籍学生数	人	0	0	0	12,943
対象指標 2						
活動指標 1	市内大学の就職関連の取組について情報提供した企業数	回	0	0	0	815
活動指標 2						
成果指標 1	学内企業説明会参加企業数	社	0	0	0	5
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	72
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	1,565
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	1,637

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<p>①市内大学の学内企業説明会に市内企業を斡旋する。 ②新卒者雇用に関する調査および市内関係機関連絡会議を開催する。 ③市内大学の学生と市内企業が連携して行う有給インターンシップの取組を支援する。</p>	<p>①学内企業説明会における江別市内企業資料作成費 20千円 ②雇用状況調査票郵送料 17千円 ③調整会議開催経費 35千円</p>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：高校生就職支援事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
			プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内高校の生徒	
手段（事務事業の内容、やり方）	
①就業体験（インターンシップ） ②就職希望者に対する面接指導・研修 ③企業説明会	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
①就労観を醸成したり、進路・職業選択の参考にする機会を提供する。 ②自分の適性を把握したり面接時のスキルアップ等のための研修などを実施し、就職活動を支援する。 ③様々な業種・企業の話聞くことで、進路・職業選択の参考にする機会を提供する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内高校の生徒数	人	0	0	0	4,724
対象指標 2	市内高校卒業予定者のうち就職希望者数	人	0	0	0	181
活動指標 1	就業体験の参加生徒数	人	0	0	0	140
活動指標 2	就職希望者に対する研修等の開催回数	回	0	0	0	25
成果指標 1	就業体験に参加した生徒のうち、意義があったと思う生徒の割合	%	0	0	0	100
成果指標 2	就職希望者に対する研修等に参加した生徒のうち、役に立ったと思う生徒の割合	%	0	0	0	100
事業費 (A)		千円	0	0	0	2,759
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	3,130
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	5,889

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	①就業体験（インターンシップ） ②就職希望者に対する研修 ③企業説明会	委託費 ①就業体験用の事前研修及びテキスト作成 410千円 ②就職希望者対象の講話 162千円 同上 面接指導 393千円 同上 個別カウンセリング 667千円 ③会場費・備品費 76千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：市内大学等インターンシップ事業 職員課

政策	08 協働			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
				プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内大学の在学生 市内大学									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内大学を通して、市の各部署に学生を受け入れ、就業体験実習を実施する。 実習の終わりに報告会を開催する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市内大学との連携により、学生の職業意識の向上及び市政に対する理解を促進するとともに、将来、市や市内企業等において活躍できる人材を育成する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	市内大学の在学生数	人	0	0	11,113	10,884
対象指標 2	市内大学数（短大含む）	校	0	0	5	5
活動指標 1	インターンシップ参加大学数（協定締結大学数）	校	0	0	5	5
活動指標 2						
成果指標 1	インターンシップ参加学生数	人	0	0	10	10
成果指標 2	インターンシップ参加に意義があったと思う学生の割合	%	0	0	90	100
事業費 (A)		千円	0	0	588	521
正職員人件費 (B)		千円	0	0	2,417	2,347
総事業費 (A+B)		千円	0	0	3,005	2,868

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内大学の大学生をインターンシップ実習生として受け入れし、職場実習や市政理解のための共通実習を実施する。 実習の終わりには、実習生から実習の成果を発表する実習報告会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通費補助 420千円 公務出張旅費 101千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下
			○	

事業名：地域発見魅力発信事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	03 観光による産業の振興		プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
			プログラム	① 地域資源の観光への有効活用				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
・周辺市町村	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市内を周遊できるマップの作成・配布や地域プロモーション広告を掲載し、江別周辺市町村への住民にPRする。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
地域資源を活用した観光情報を発信し、江別市の知名度向上を図り近隣市の住民や観光客の市内への入り込み数を増やす。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	周辺市町村数	市町村	8	8	8	8
対象指標 2						
活動指標 1	プロモーション事業件数	件	1	2	4	5
活動指標 2						
成果指標 1	主要観光施設観光入込客数	人	114,456	162,813	126,000	127,300
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,191	1,696	1,445	2,881
正職員人件費 (B)		千円	803	2,405	2,417	3,130
総事業費 (A+B)		千円	2,994	4,101	3,862	6,011

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	<ul style="list-style-type: none"> 江別マップ作成事業 広告掲載事業 江別PRアイテム製作事業 	<ul style="list-style-type: none"> えべつルートマップ作成事業 1,778千円 健康ウォーキングマップ作成事業 281千円 えべつプロモーション広告掲載事業 600千円 江別PRアイテム製作事業 222千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
26年度への改善方向性	「江別ブランド推進事業」の一部を統合し、名称を「地域プロモーション推進事業」から「地域発見魅力発信事業」に変更する		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：江別観光協会補助金

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興		プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興					
			プログラム	② 観光資源のパッケージ化					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
江別観光協会	
手段（事務事業の内容、やり方）	
「江別市商工労働関係補助金交付規則」及び「江別観光協会補助金交付要領」に基づき、江別観光協会事業への補助金交付	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
近隣市町村と協力し、観光情報の発信や観光客の誘致に努め、観光客の市内への入り込み数を増やす。イベント等により江別の特産品を道外・道内に向けてPRしていくと同時に、観光プロモーションを展開し、市内への誘客を増やす。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度予算	26年度予算
対象指標 1	江別観光協会会員数	会員	168	179	180	180
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,200	1,287	1,553	1,787
活動指標 2						
成果指標 1	観光協会事業件数	件	7	7	12	7
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,200	1,287	1,553	1,787
正職員人件費 (B)		千円	6,020	5,611	6,042	5,868
総事業費 (A+B)		千円	7,220	6,898	7,595	7,655

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
26年度	江別観光協会への補助	補助金 1,787千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
26年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				